

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

トリデシルアルコールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

E F A 9 8 0 0 6

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992 年)に準拠して実施した。

被験物質： トリデシルアルコール

曝露方式： 半止水式(24 時間毎に全量換水)

供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)

試験濃度： 対照区、助剤対照区(助剤濃度：0.1mL/L) 1.0、1.8、3.2、5.6 および
10mg/L

曝露期間： 96 時間

試験液量： 5.0 L

生物数： 10 尾/試験区

照明： 16 時間明/8 時間暗(室内光)

イレージョン： なし

温度： 24±1℃

結 果

試験の結果、トリデシルアルコールの実測濃度に基づく 96 時間の半数致死濃度(LC50)は 1.7mg/Lであった。